



「家族経営協定」のすすめ

夢のある元気な農業経営のために



(社)農山漁村女性・生活活動支援協会

「家族経営協定」ってなに？

家族経営協定とは、家族で取り組む農業経営について、経営の方針や家族一人ひとりの役割、就業条件・就業環境について家族みんなで話し合いながら取り決めるものです。そして、家族みんなで実行し、必要に応じて内容の見直しも行っていくことです。

何のために結ぶの？

農林漁業の経営が
家族の話し合いと男女の共同参画によって
充実・成長していくため

家族一人ひとりが
尊重される家族関係を
作っていくため

次の世代にスムーズに
引き継いでいくため

家族一人ひとりがお互いに
個性と能力を認め合い
かけがえのない対等な仲間として営む
共同経営的な経営に



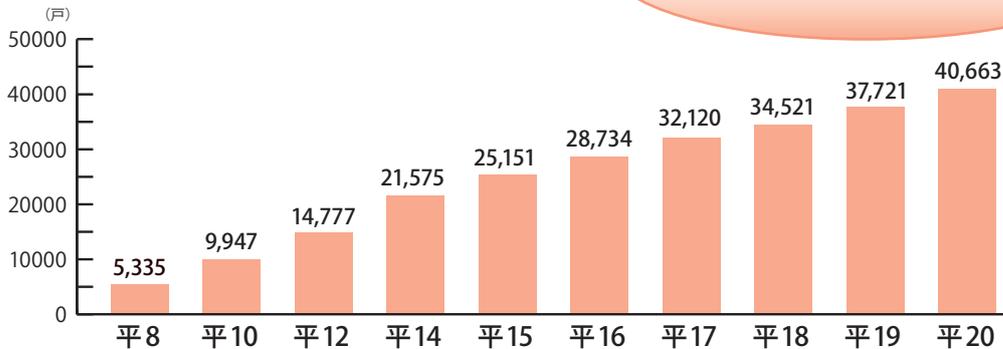
1 「家族経営協定」の現状は？

どんなきっかけで 家族経営協定を結んでいるの？



家族経営協定を結んでいる農家数は？

協定を結んでいる農家数は、年々増加しています。



取り決めている家族経営協定の 主な内容は？

■上位5位の回答(複数回答)

区分	平成20年
農業経営の方針決定	90.4%
労働時間・休日	88.4%
農業面の役割分担(作業分担, 簿記記帳等)	79.3%
労働報酬(日給, 月給)	72.7%
収益の配分(日給, 月給以外の利益の配分)	46.7%

他にもつぎのような多様な内容があります。
あなたの家族の実情に合わせて内容を盛りこむとよいでしょう。

- 生活面の役割分担(家事、交際)
- 経営移譲(継承を含む)
- 労働衛生・健康管理
- 社会・地域活動への参加
- 移譲者(老後)の扶養(居住・生活・介護等)
- 育児の役割分担

家族経営協定を結んでいる農家の構成割合は？

■平成20年

家族経営協定数	40,663件
うち認定農業者	30,245件
うち法人	1,050件

資料：農林水産省人材育成課 調べ

2 「家族経営協定」を結ぶ手順は？ — 家族の話し合いから協定を結ぶまで —

家族経営協定を結ぶときは、形式にこだわらず、家族みんなで話し合いながら、あなたの経営にピッタリの家族経営協定をむすんでみませんか。

あなたの農業経営をより良くするために、4つのステップを踏んで家族経営協定に取り組んでみましょう。

ステップ

1

家族で話し合います

わが家の経営の現状や課題を整理し、今後の経営方針、家族の就業条件、生活の目標などで要望を話し合い、明らかにします。

所得目標、経営計画・役割分担・収益配分・経営移譲・家計費・介護など

ステップ

2

対策を考えます

話し合いを踏まえ、わが家の経営課題の解決方法や、経営方針や生活目標を実現するための具体的な対策について、どのような取り組み（協定）が必要かを検討し合い、項目をあげます。

中長期の営農計画と生活設計<家族のライフサイクルと必要資金>、所得目標、労働計画、家計目標、家事分担、就農条件、財務管理、労働・生活時間、経営移譲、税金、老後の保障など

ステップ

3

協定を結びます

家族で話し合った結果を文書にすると、取り組む内容がより明確になりますので、まず協定書の試案を作ってみます。何から取り組むか家族間で検討、普及指導センターや農業委員会などの指導機関からの意見もきいてみます。協定を結ぶときは家族員だけでなく、指導機関の立ち会いがあると、さらに確かなものになります。



ステップ

4

協定を実行し内容を見直します

結んだ内容が実行されているか見直し、必要があれば新たな項目や内容を追加しましょう。できれば定期的に（年に1回は）見直し更新するようにしましょう。

- 家族構成の変化
後継者の結婚で家族員が増えるなど…
- 協定内容が不都合になった場合
労働報酬の支給額、支給方法の変更、休日、休暇の時期、日数などの変更、経営を移譲したとき、経営内容（作目）の変更
- 不都合がない場合でも
毎年お正月に見直してみるなど…

宮城県仙台市 松元裕子さんの例

<経営内容>
水稲 15ha、野菜 20a、花き 10a（トルコギキョウ、ストック、菊）、
農産加工（餅、おこわ、おにぎり、弁当）

結婚と同時に就農。すぐ両親と相談し、 長期営農生活設計「我が家のライフプラン」を作成、 「家族内の約束ごとを明文化」してスタート。

裕子さんは農家の3姉妹の3女に生まれました。4年間の保育士経験後、両親がいきいきと農業に取り組む姿を見て魅力を感じ、平成3年に結婚と同時に夫婦で就農しました。

就農後2年間は見習いで両親の補助作業員として従事し、農業技術を習得。就農時に両親と本人夫婦の話し合いにより、長期営農生活設計「我が家のライフプラン」を作成し、生活と経営の将来目標とあわせ生活設計を実行するために家族内の約束（役割分担や月給等）を口頭で定めて、さらに明文化し、平成9年には家族経営協定を締結しました。

平成14年には経営に農産加工部門を増やしたことから日曜休日制が難しくなったことから協定を見直し、健康・介護、相続、ライフスタイルなどの項目を追加して、再締結。ライフプランも一新、「ニューライフプラン」としてより現実にあったものとなりました。

平成15年、両親からの経営移譲も受けて、裕子さんは花き生産、農産加工、家事を担当。農産加工部門は年間販売額の3割を占めるまでに成長しています。また、夫婦で認定農業者となり、夫婦・家族がそれぞれ自立した農業経営者として尊重しあい、経営を発展させています。

そして、地域内の活動にとどまらず広く交流を持ちたいと考え、いまでは県内外の仲間と情報交換や視察を受け入れ、各種役職を担い積極的に取り組んでいます。

このように経営を発展させ、広く社会参画をするなど前向きに取り組んでこられたのは、家族経営協定を結んだことによるものでした。

裕子さんは年一回、家族と一緒に協定書を確認し、経営を見直すきっかけにしています。



3 「家族経営協定」に盛り込むとよい事項

取り決めの内容や様式は「こうしなければならない」と決まっているものではありません。家族みんなの話し合いを通じ、必要なことから一つずつ始めてみましょう。

協定に盛り込む内容は

やりがいを持って働くために

- 農業経営のビジョン・目的は …… 家族みんなの意向で
- 日々の労働時間・休憩時間は …… 季節による始業・終業時刻、休憩時間、一日あたり労働時間など
- 休日・休暇は …… 繁忙期、通常期、特別休暇など
- 給料や収益配分は …… 役割や働き方に応じて
- 農作業の役割分担は …… 部門・作業分担、経営管理等、安全・快適な労働のための工夫や労働環境など

みんなで経営を充実させよう

- 短期・長期の経営計画は… 経営の目標、資金計画、所得目標、経営規模など
- 簿記記帳は誰の担当か
経営状況の把握は
家族会議は開いているか
経営の役割分担は
経営戦略は、法人化は
後継者等の養成・教育

ゆとりある暮らしのために

- 生活の目標は、生活面の役割分担は… 家事・育児の担当など
- 家計状況は把握しているか
共通家計費の担当と支払い方法は… 家計簿記帳など
- 多世帯家族の快適な住まい方は… 後継者夫婦との同居・別居など
- 老後の生活設計は …… 介護、生活費、年金など
健康診断を受けているか
- 余暇、地域活動は …… 旅行・レクリエーションなど

これからも 農業を続けていくために

- 後継者への譲り渡しは… 経営権や経営資産の移譲について、時期、方法など
- 相続への対応は …… 親子、兄弟姉妹で合意していることはあるか、経営の細分化防止の方法はあるかなど

4 「家族経営協定」を結ぶと、こんな効果が！

協定を結んで、経営に活かした多くの農業者の声から

- 経営理念や経営方針を家族みんなで共有できるようになり、家族全員の経営意識が向上した。
- 経営のこと以外についても話し合う機会が増え、家族みんなで協力し合い、結束が強まった。
- 役割分担や就業規則の取り決めを通じて、経営の合理化が進んだ。
- 共同申請制度を利用して、後継者や配偶者も認定農業者になった。また、配偶者や後継者が利用できる制度的なメリットもあるので経営にゆとりができた。
- 部門を任せられるようになって、以前よりも責任とやりがいを感じる。
- 決まった給与を貰えると、将来設計が立てやすくて助かる。
- 気持ちと時間の余裕が生まれ、研修や地域活動に参加しやすくなった。
- 後継者へ経営移譲がスムーズにできそうだ。

